



第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会

にいがた妙高はね馬国体

銀世界 跳ねて 駆けて かがやいて



第73回大会 TEAM FUKUOKA NEWS

福岡県選手団サポートニュース H30.2.25 Vol.1



2/25 銀世界での熱き闘いがいよいよ始まる！



雄大でのびやかな裾野。日本百名山である妙高山の麓、新潟県妙高市において、第73回国民体育大会スキー競技会開始式が行われた。本県選手には、北海道での直前合宿を経て会場入りした選手もあり、万全の準備で大会に臨んでいる。開始式では、本県選手を代表し、ジャイアントスラローム少年男子川嶋真誠選手（水産高校）が旗手を務めた。

2年連続出場となる川嶋選手は「必ず昨年よりも順位を上げる。」とコメント。また、同じくジャイアントスラローム成年男子 A に出場する九州大学の中野翔太選手や一本杉旭人選手は「持てる力を存分に発揮したい。」と意気込んだ。3人の選手の表情には、今大会に向けた闘志が溢れていた。



【開始式の様子】



【開始式に参加した本県選手団】



福岡県選手団現地結団式！

青柳泰治総監督（県スキー連盟会長）は「本県スキー競技は点数を積み上げてきている『伝統』がある。これを大切にしてほしい。」と挨拶。

昨年の大会でもジャイアントスラローム成年女子B出場し優勝した長谷川絵美選手（株）サンミリオン）は、「今年も福岡県に貢献したい。」と力強くコメント。本日の開始式で選手宣誓した新潟県の選手の「ふるさとへの熱い思いを込めて」という言葉とつながった。

明日(2/26)、いよいよ熱戦の火ぶたが切られる。



【現地結団式の様子】